

障がい者福祉計画施策の 充実を求めて

飯島 正義



問 障がい者の親亡き後も安心して暮らせるまちづくりや自立をめざすための施設入所支援が、求められます。これまでの取組をお聞きます。

答 11月末現在の市内車いす対応のグループホームの数は、2施設定員36人。車いす対応のショートステイの数は、2施設定員4人で、現在送迎は行っていません。5市1町の管内では、送迎を実施している事業所が5箇所。その内車いす対応が可能な事業所は3箇所です。

◆大場川への落としの水路改修と柵の設置を

問 大場川へと流れる東西の落としの水路、三輪野江1594-1番地先は、市道を挟んで家が立ち並び、車などの通行もあり危険だとして、以前から柵設置の要望があります。現在も三郷市、吉川市を境として柵が未設置のままで、ポールにロープを括り付けた状態です。水路改修もまだのようです。その後の進捗をお聞きます。

答 水路整備は済んでいます。柵の設置要望は聞いていますが、約200件の修繕要望があり危険性、緊急性の高いものから対応しています。

事故・物損等による 市の責務について

加藤 克明



問 令和6年6月19日市道2-945号線を走行中、道路が陥没、脱輪し走行できなくなる事故が発生。事故の詳細な説明と市の責務・補償内容について。

答 吉川2丁目40番7地先においてミキサー車が進入した際、6月10日、11日に施工した水道・下水道工事施工箇所付近で道路が陥没、右後輪が落下し車体が損傷した。また、車両の引き上げに時間を要し、タンク内のコンクリートが固着したため修理が必要となった。陥没の原因については、下水道管の損傷による土砂の流出をはじめ、付近で実施された工事や地下水などの影響も考えられ、施工内容も確認したが、異常は見当たらず、特定には至らなかった。原因が特定できなかったことから、本市が管理する道路上で発生したこと、また本市発注の工事箇所付近で発生したことを踏まえ、施工業者と協議の上、早期解決に向け双方で賠償することとした。今後については再発防止に向け、職員の現場での立ち合いや施工中に何か異常があれば、速やかに、お互い情報を共有して対応していこうと部内で確認をした。

画地の分割・規模は 妥当だったのか

吉川 敏幸



問 総合病院が辞退することに関する議員への説明会で、2回目の公募の前に優先交渉権者に決定した業者が、「2つに分割された画地の1つのみの優先交渉権者になった場合、スケールメリットがないので辞退する可能性があるが、その場合は辞退していいか」といった旨の質問があったという話があった。これが全てで、いろいろ調整したが、結果的に辞退したということだと思っている。その点について、市の見解は。

答 分割した理由は、複数の事業者と意見交換をする中で敷地規模が大きいという意見があったので、より多くの事業者応募ができ、また競争性も高められ、より良い提案が期待できるとの考えから分割した。令和5年2月に今回の医療法人が埼玉県から採択された病院敷地の面積は約1haであり、今回の画地番号①の面積は約1.3haであり、画地を分割したことが計画中止の要因とは捉えていない。

問 優先交渉権者からの辞退理由を公表する考えは。

答 申込辞退届は代表申込者から提出されている。公表する予定はないと伺っている。

カメムシ対策と 今後の対策について

松崎 誠



問 カメムシ対策とカメムシ被害についての内①イネカメムシ発生予察の情報提供について②被害相談件数と被害状況、関係機関との情報共有、広域防除への取り組みについて③野焼きに対する地域住民への配慮と取り組みについてお伺いします。

答 ①11月8日付けで埼玉県より「イネカメムシ」の広域防除推進に関する通知が出されたため、11月11日付けで市から各地域の農事組合長あてに回覧をお願いしました。
②市への直接相談は10件程度、被害割合はさいかつ農協の集荷米検査で着色と判断された割合は10月末時点で3割程度です。今後も県や農業者、さいかつ農協と引き続き広域防除に関する情報収集し共有すると共に、カメムシ被害を与える可能性がある江戸川河川敷の草刈りについて関係機関と相談調整する予定です。
③野外焼却は法令で原則禁止されているが農業を営むためにやむを得ない場合は周辺地域の生活環境への支障の防止にできるだけ配慮することを前提に認められており、その旨を市ホームページや広報等を通じ呼び掛けをしています。